

2020年度事業計画

学校法人 沖永学園

1. 学園の現状と基本方針

沖永学園は、創立以来社会のニーズに応えるため組織の設置・改善を重ね、現在では短期大学1・高等学校1・中学校1・幼稚園2を擁している。「礼儀・努力・誠実」を建学の精神とし、帝京大学グループとしてのメリットも生かしつつ、人格を磨き社会で役立つ実学を重視する。

2. 教育研究に係わる課題と方針

(1) 帝京短期大学

① 生活科学科

<生活科学専攻生活文化コース>

学生の社会性育成プログラムの精度を高めるため以下のように改善する。㊦昨年度新設科目の「地域づくり」において地域貢献ボランティア指導を強化し、生活文化演習で実施しているプロジェクトチーム制と合わせて学生の地域貢献に対する自主性を高める。㊧同演習では、インターンシップや就職等に関する情報収集能力等、社会性を高めるための能力開発指導に取り組む。㊨観光学については、関連業界へのインターンシップや就職指導、2年生時の観光ゼミ研修を継続する。㊩渋谷区とのS-SAP事業においては、自治会や近隣商店組合との協定の下での地域活動やイベントへの参加、渋谷区内9大学連絡会での連携事業への参加促進等により学生の地域社会性をさらに高める。

<生活科学専攻養護教諭コース・専攻科養護教諭専攻>

養護教諭に必要とされる資質・能力や実践力を磨くために現場から学ぶことを重視し、授業以外に渋谷区の教育委員会と連携した区立小・中学校でのボランティア活動、地域と連携した子ども食堂や障害者施設などでのボランティア活動を取り入れている。授業では、文部科学省の規定を上回る独自科目を設定し体験活動や演習を充実させ、一人職種である養護教諭が現場に出てすぐに仕事ができる力をつけることを目指している。採用試験対策やリカレント教育にも力を入れ、卒業生を対象にした教育も継続して実施する。専攻科においては、さらに学びを深めたいという学生のためにI種免許の取得と合わせて、養護教諭として仕事をするにあたり自らの課題解決に向けて追究できるような研究活動にも力を入れた教育活動を推進していく。

<食物栄養専攻>

2019年度の事業計画を継続し、給食管理実習校外の学習成果を良好に獲得するため、

給食管理実習校外の事前・事後指導の充実を図る。特に教員と学生および学生間のコミュニケーションがとれる環境をつくり、学生個々が実習における学習成果を獲得する。加えて、演習において将来栄養士として仕事に就くための心構えおよび専門知識を習得するようにする。2019年度は、就職、進学において大変良好な結果であった。2020年度もキャリアサポートセンターと常に連絡をとり、学生面談を通して就職・進学活動を支援する。学生が取得した資格および習得した専門知識を活かした進路に進めるようにする。

②こども教育学科

学生の現場対応力強化を重点課題とする。具体的対応としては、渋谷区の教育委員会および子ども家庭部の協力による、実習に向けての第一歩として幼稚園・保育園での1日参加実習での事前指導および、ボランティア活動への参加、また、帝京こども教育研究会(2009年発会・年2回実施)に参加し、講演・グループ幼稚園(4園)の研究発表を聞き現場を知る。さらに、キャンパス内にある帝京めぐみ幼稚園で空き時間を利用した体験実習を行い連携を充実させる。キャリアサポートセンターと連携し公務員試験受験指導に力を入れる。

③ライフケア学科

<臨床検査専攻>

2018年度の留年率・退学率から2019年度はかなりの改善がみられたが、依然として学生の基礎学力不足が目立つ。2019年度は入学生数が少なかったことで学生一人一人に目が行き届き、きめ細やかな指導につながる結果になった。早い時期から基礎学力不足の学生に対する指導に注力していく。しっかりとした入学試験改革も望まれる。

<専攻科臨床工学専攻>

臨床工学専攻では、広汎かつ高度な専門知識を有する人材を育成するために、工学の専門知識や技術ならびに医学の幅広い知識を修得できるよう授業の充実を図り、臨床工学技士資格取得を目指すために専門性をさらに高める。教育方法としては、きめ細かな教育指導をおこなうために2年前に導入したスモールグループによる担任制を維持し、学習目標計画や生活・進路指導などについて指導を行う。さらに、国家試験対策として各試験(学内模試 全国統一模試)の強化や学会検定試験の取得を目指し、最終目標の国家資格取得に向けその向上を図る。

<柔道整復専攻>

2020年度は学校指定規則の改正に伴う新カリキュラムの完成年度を迎える。柔道整復師の資質の向上と社会に必要とされる医療従事者の教育を目指す改定に伴い、本学では3年次、柔道整復師が取り扱う療養費や社会保障制度全般の知識を学ぶ「社会保障制度」、全人的なスポーツ競技者増加や高齢者社会に対応した生理学を学ぶ「高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化」を開講する。これらの科目を通して社会における柔道整復師の役割や日本の社会保障制度の重要性を卒業前に再認識させ、資質の向上に寄与できると考える。また、国家試験の形式が大幅に改正されたので、基礎教科、専門教科ともに授業内容を対応したものにそれぞれ変更していく予定であ

る。また、本校の特徴である客観的臨床能力試験を再整備し、社会で必要とされる「治す力」を備えた学生の育成を目標に指導継続していく。

④通信教育課程

説明会、卒業生(同窓会)等を通じて学生募集活動を強化する。就職希望者に対する情報提供、フォロー体制を強化する。入学オリエンテーションの充実を図るとともに、在校生に対して、学生便覧、サブテキスト、帝短通信・担任等を通じてレポート作成のポイントや注意点等への学習指導を充実させる。

(2) 帝京八王子中学・高等学校

知・徳・体の全人教育を、生徒の個性と発達段階に即して行い、健全な育成を期することを教育目標とする。努力をすべての礎として、教育目標達成の手段として校訓『礼儀・努力・誠実』を定め、入学した生徒が一人の例外もなく大きな成長を遂げて卒業し、更に希望進路を実現できるよう、面倒見よく愛情に裏打ちされた厳しさの中にも暖かさを持った教育・指導・助言を行う。

また、2021年度中学学習指導要領改定、2022年度高等学校指導要領改定に対応し、教育目標を実現するために、教職員の教科指導研究、進路指導研究など、帝京大学グループ校とも協力し、研修を積極的に参加・実施することで、生徒への指導に対する知識や能力の向上をはかる。

海外語学研修だけでなく、実用英語検定受験必須化、短期ターム留学、海外短期留学生受け入れ等を推進し、併せて校外授業と修学旅行を中学1年生から高校3年生までかけて、「日本と海外のこれまでとこれから」を一貫したテーマとし、本校の国際理解教育をより発展したものにする。

このような本校の教育を広く周知させる広報活動に工夫改善を行うことで、本校の教育に適性を持つ生徒のより多くの入学を実現させる。

(3) 帝京めぐみ幼稚園

遊びを中心とした生活を通して、一人ひとりに応じた総合的な指導を行う。そのためには、幼児理解に基づいた計画的な環境の構成によって幼児が主体的に取り組み、遊びへの意欲を持てるようにする。具体的には、身近な動物への触れ合いを通して「思いやり」「優しさ」の心を育み、命の大切さを学ぶ「動物介在教育」を引き続き実施する。また、帝京短期大学食物栄養専攻学生による給食を取り入れた食育を実施している。さらに、短大キャンパスを利用した活動や自然体験、花壇や畑作業、地域の小中学生の職場体験受入や地域の母子を対象に子育て支援活動(ふれあいタイム)を実施する。このような幼稚園内外の様々な人々とのかかわりなど、社会体験、直接体験のできる場を取り入れる。

(4) 帝京にしき幼稚園

「よくみる・よくきく・よくする」をモットーに、遊びを中心にしながら多様な体験を通して、個を発揮し礼儀正しく思いやりのある子どもの育成を目指す。そのために幼児理解を基盤として計画的に環境を構成し、指導内容の充実を図る。具体的には、指導計画を立案し、評価の充実を図り、幼児の発達を見通してそれぞれの時期に必要な教育内容を明らかにした計画性のある指導を行う。また、園行事や日常の活動を通して造形、身体、音楽などを表現する楽しさや感動する心を育てる。

3. 教育環境の整備

帝京短期大学では、2019年度末に学務システムと学生用コンピュータシステム(42教室、学生支援室、給食の運営と管理実習室Ⅱ)を更新した。学務システムに連動する証明書自動発行機も同時に部分更新した。学生の多様なICT利用に継続的に対応するため、更新した学生系コンピュータシステムのネットワークを拡張する。教職員及び学生が使用でき、セキュリティに配慮した認証基盤を用いた学内無線LANの環境構築を検討する。学内に構築する無線LAN基盤を活用し、講義室のコンピュータのネットワーク接続を行うと共に、教室のプロジェクトをアクティブラーニングに用いることができる画面教示を強化したプロジェクト設備への更新を検討する。

帝京八王子中学・高等学校では、2014年6月に竣工した、新体育館「蔦永館」が日々の体育の授業やクラブ活動はもちろん、さまざまな講演会、吹奏楽部、ダンス部の発表会など多目的に利用されており、保護者や一般来場者にも教育環境のアピールを行っている。また、教職員が、より個々の生徒へ接することができるように業務改善を図り、新たに教務システムを導入することを進めていく。

帝京めぐみ幼稚園では、備品、園庭の整備等、園児の健康により配慮した保育環境を整える。帝京にしき幼稚園では、教育内容の充実につながるよう各保育室の保育環境を整えていく。また、園バスを新調し園児・保護者の利便性と安全性を高めた。両幼稚園の情報発信強化のため、ホームページを両幼稚園で速やかに更新することができる管理システムへの変更を検討している。

4. 学生支援の充実 (帝京短期大学)

学生の心身の健康問題の対応・学習支援・進路選択をトータルで支援していけるよう、各部署の教職員で構成された学生相談支援委員会で学生情報の共有を図り適切な対応につなげていく。健康面では、保健室に複数の養護教諭を配置し、個々の学生の対応を丁寧に行うことで、心身の健康問題の早期発見や対応につなげていく。また、より専門的な支援が必要な学生に対しては、帝京平成大学臨床心理センターで支援を受けられるよう連携を図る。さらに、予防教育の一環として、全新入生を対象とした性教育特別講義の実施や、保健だよりの定期発行を行い、健康への意識向上を図る。学習面については、2017年度より学習支援員を配置し、学習面で課題を抱える学生の

個別支援を開始している。2018年度から週1日の定期的な支援を充実させた結果、学生の成績や意欲等にも変化が表れている。様々な背景を抱える学生への対応と適切な支援を提供するためにも、教員研修を継続的に実施していく。

就職・進路指導にあたっては、キャリアサポートセンターが中心となって就職対策委員会の担当教員との連携のもと学生をこまめにフォローすることで、実就職率88%以上を目標としている。学生面談を実施し、適宜状況をフォローし就職・進学をサポートしていく。また、授業(社会人入門セミナー)での外部講師招聘や新卒応援ハローワーク等との連携等により就職指導の充実を図るとともに、学内合同企業説明会等の機会も設けていく。

5. 学生募集計画 (帝京短期大学)

2021年度より大学入学者選抜実施要項の見直しに伴い、本学も入試日程や選抜方法の見直しを行う。アドミッションポリシーに合致した学生を受入れるため、10月から3月にわたり総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、社会人選抜など多様な入試制度とともに、大学入学共通テスト利用入試においても募集していく。対面イベントとしては5月に高校3年生と保護者を対象とした入試説明会、6月～9月にかけてオープンキャンパスを実施する。3月には高校2年生を対象とした春のオープンキャンパスを実施し、次年度のイベントに繋げていく。また、入試広報課職員のみならず教員も高校訪問を行い、本学の教育内容や学習成果を説明するとともに募集活動に努めている。

インターネットやスマートフォンの普及に伴い、広報活動も新聞や雑誌等の紙媒体からWeb媒体への広告に移行をすすめていく。特にホームページにおいてはこまめな情報の更新に努め、パソコンサイトはもとよりスマートフォンユーザーに対しても閲覧しやすい画面構成にしている。さらに、見学者や電話の問い合わせに対し、懇切丁寧な対応をすることで志願者の増加につなげていく。

6. 地域社会への貢献 (帝京短期大学)

渋谷区とのS-SAP協定も4年目に入り、今年度のオリンピック関連事業や渋谷区の公開講座事業であるハチ公大学への協力等、連携大学への協力要請に対応していく。現在、帝京短期大学のS-SAP事業としては「ささはたっこ(こどもテーブル)」や「六号坂花コミュニティ連絡会による『おとなりサンデー』」が登録されている。他に「ささはたカフェ」や「東京ふれあいロードプログラム下での地域美化活動」、「ササハタハタフューチャー(渋谷区後援)(ササハタ地区活性化事業)」、「代々木警察ボランティア隊」、長年積み重ねてきた「地域のイベント支援(渋谷フェスティバル参加など)」などを継続する。これらの事業展開によって学生の就職力向上に繋げていく。

7. 自己点検・評価 (帝京短期大学)

2020年度の自己点検・評価は、2019年度同様教職員全員がPDCAのシートを活用し

て行う。加えて各委員会へも PDCA シートを用いて自己点検・評価を実施し、検証していく。課題については、各部署において改善を検討し、図る。

2018 年度より学習成果報告書は、全科目について実施したが、2020 年度も継続して学習成果報告書の作成を全教員へ依頼し、授業改善に繋げ、学生の学習成果の獲得を向上させる。

8. 2020 年度予算の概要

(1) 収入

帝京短期大学の学納金は、入学者数増により前年度予算比微増の見込み。在学生数増減により、帝京八王子中学校は減収、高等学校は増収を見込む。また、帝京めぐみ幼稚園はほぼ横ばい、帝京にしき幼稚園は減収を見込む。学校法人全体では、学納金は前年度予算比微増の見込み。

(2) 支出

人件費抑制をはじめ各学校・幼稚園とも経費削減に努め、前年度予算比支出減を見込む。

(3) 事業活動収支差額

事業活動収支差額は、収入は減少するものの、経費削減により学校法人全体ではほぼ収支均衡の見込みである。

以 上